

人を支えるよこび 笑顔があふれる 介護のしごと

高齢者や障がいがある人で、一人で生活することが難しい人の手助けをするのが「介護のしごと」です。特に65才以上の高齢者は、身体の動きが低下し、介護が必要になることが多くなります。「介護のしごと」は、みんなが安心して自分らしく暮らしていくうえで、ますます重要になっています。

介護の現場では、いろいろな専門家(プロ)が働いています。



主な介護のしごとを紹介するね

介護職員

利用者の自宅や事業所・施設で、食事や入浴、洗濯・掃除、買物など、利用者が生活する上で必要な支援を行います。特に、利用者の自宅に行く介護職員を「ホームヘルパー」と呼んだりします。



理学療法士・作業療法士

理学療法士は、立つ、歩くなどの基本的な動作。作業療法士は、食事、入浴などの日常生活動作の改善を目標としたリハビリを行います。



看護師

利用者の健康管理をはじめ、主治医と連携を取りながら服薬管理などの必要な医療行為を行います。



生活相談員

利用者や家族からの相談に乗り、適切な介護が受けられるように、関係機関と調整したり、支援を行ったりします。



ケアマネジャー

介護が必要な人の心身の状態に合わせた、ケアプラン(介護支援計画)の作成や介護サービス業者との調整などを行います。



“ありがとう”の声につつまれる感動がいっぱい。

人が人を支える介護の現場には、やさしい心と感謝の言葉がいっぱい。介護をする人、介護を受ける人、お互いの“ありがとう”の気持ちがひびきあう、あたたかな時間が流れています。

介護の現場で活躍する先輩たちの声だよ♪



作業療法士
岩木 大佐



生きがいを届けるやりがいのあるしごとです。

入院生活を送ったときに目にした、笑顔でお年寄りのお世話をする介護士さんの姿に感動し、建設業から介護職への転職を決めました。作業療法士は、心と体のリハビリを通じて生きがいを届けるのがしごとです。私の治療によって、お年寄りのみなさんの笑顔が増えていくことにやりがいを感じます。人の笑顔が好きなのは、ぜひ介護のしごとを選んでください。

人に感謝される喜びがいっぱいです！

中学校のときの老人ホームの職業体験で介護に関心を持ち、福祉科のある高校に進学しました。介護福祉士は、利用者様やご家族様からたくさんの感謝の声をいただきます。病気で話すことが難しいお年寄りの方が、声をしぼり出して“ありがとう”と言ってくれたときは感激で涙がこぼれそうでした。介護のしごとを選んでよかった！そんな思い出がいっぱいです。



介護福祉士
不破 菜摘



理学療法士
諸泉 裕香



お年寄りに寄り添うことで自分も成長できます。

理学療法士の主なしごとは、リハビリを通じて生活に必要な筋力や体力を維持することです。歩行訓練などで症状が改善したお年寄りの笑顔を見ると、大きな喜びと達成感を味わえます。入院生活で自分の好きなことが出来なかった祖父を見て、介護の道に進んだ私。人生経験が豊富なお年寄りの方とふれあうことで、自分自身の成長にもつながっています。

人の想いがカタチになる感動があります。

介護の専門学校を卒業後、介護福祉士として働いています。介護が必要な人はもちろん、介護に悩むご家族の手助けができることにやりがいを感じています。介護の現場ではさまざまな専門職の方たちがチームでお年寄りのケアを行います。いちばん大切なものは人と人の支え合いです。介護のしごとは、人を想う気持ちが目に見えるカタチになる素敵なしごとです。



介護福祉士
ケアマネジャー
木村 昌博

主な介護のしごとの現場



働く場所や働き方はいろいろだよ

施設・居住型の介護のしごと

自宅での介護が難しい高齢者が入居する施設で、身のまわりのお世話やリハビリなどを行います。

通所型の介護のしごと

介護が必要な高齢者が日帰りで利用する施設で、介護や機能訓練などを行います。

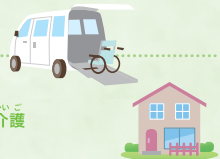
訪問型の介護のしごと

介護職員や看護師などが利用者の自宅に行って、介護・看護サービスなどを行います。

- 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
- 介護老人保健施設
- 介護付有料老人ホーム
- 認知症高齢者グループホーム など

- 通所介護(デイサービス)
- 通所リハビリテーション(デイケア) など

- 訪問介護
- 訪問入浴介護
- 訪問看護
- 訪問リハビリテーション など



スタッフみんなで協力しながら 介護福祉士 不破 菜摘さんの一日

スタッフみんなで協力しながら高齢者をサポートしているんだよ



8:30	夜勤スタッフから申し送り ミーティング
9:00	健康チェック(体温、血圧測定など)
9:30	朝の体操(レクリエーションを交えて指導)
10:30	理学療法士・作業療法士と共にリハビリの介助
12:00	昼食介助
13:00	入浴介助(入浴のない日はレクリエーション、リハビリ)
15:00	おやつタイム(水分補給、食事介助)
16:30	夜勤スタッフへの申し送り ミーティング
17:30	

※このほかに、早番、遅番、夜勤などの働き方があり、それぞれ利用者の生活全般をサポートします。

「介護のしごと」をするには？

資格がなくても働けるしごともありますが、大学・専門学校などに進学して資格(介護福祉士など)を取ることで、専門性の高いしごとに就くことができます。介護のしごとに興味を持ったら、先生や家族のみなさんに相談してみよう！

